

# 要 望 書

## 令和2年度 群馬県予算等に関する要望について

群馬県市長会 会長 清水 聖義

## 令和2年度群馬県予算等に関する要望

日頃から都市行政の各般にわたるご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我々12市においては、住民に最も身近な基礎的自治体として、福祉、介護、医療などの社会保障サービスや道路、環境、教育など日常生活に必要な事業の実施に最大限の努力を傾注しております。

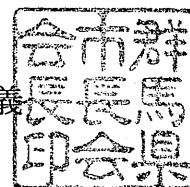
このようななか、毎年のように各地で発生する大規模自然災害や、広域化・深刻化する鳥獣被害に対する危機管理体制のあり方など、新たな行政課題への対応が求められており、こうした環境変化に対しては、財源面や政策面などにおいて県と市町村が相互に連携・協力していくことが何よりも大切なことでもあります。

この要望書は、こういった県内12市の山積する諸課題や主要施策に対し、群馬県からのご支援とご協力を戴きたく取りまとめたものでありますので、何とぞ12市の置かれている実情をご理解頂き、本要望の実現について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

群馬県市長会

会長 清水 聖 義



群馬県知事 山本 一 太 様

# 共通要望

## 令和2年度 群馬県予算等に関する要望

### 『 共 通 要 望 』

#### 企画部関係

- 1 世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群等に係る支援について
  - (1) 富岡製糸場保存整備事業に係る支援について〔継続〕
  - (2) 田島弥平旧宅保存整備事業に係る支援について〔継続〕
  - (3) 高山社跡保存整備事業等に係る支援について〔継続〕
  - (4) 県内絹産業遺産の保存継承について〔継続〕
  - (5) 世界遺産センターにおける調査研究の充実について〔新規〕
  - (6) 世界遺産学校の創設について〔新規〕
- 2 在留外国人に対する日本語教育への支援について〔新規〕

#### こども未来部関係

- 1 第3子以降副食費補助事業の新設について〔新規〕
- 2 産婦健康診査実施における医療機関との調整について〔新規〕

#### 健康福祉部関係

- 1 地域における高度医療の確保について〔継続〕
- 2 こども発達支援相談室運営に対する補助について〔新規〕
- 3 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕
- 4 成年後見制度の首長申立てに係るガイドラインの作成について〔新規〕
- 5 生活困窮者自立支援制度に係る支援について〔新規〕
- 6 後期高齢者健診における委託契約の調整について〔新規〕

#### 森林環境部関係

- 1 クビアカツヤカミキリ対策事業の促進について〔継続〕
- 2 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕
- 3 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕

#### 農政部関係

- 1 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕
- 2 養蚕業に対する支援について〔継続〕
- 3 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕
- 4 豚コレラ拡大防止支援について〔新規〕

#### **産業経済部関係**

- 1 千客万来支援事業費補助金の拡充について〔新規〕
- 2 シルバー人材センター補助金の拡充について〔新規〕

#### **県土整備部関係**

- 1 幹線道路網等の整備について〔継続〕
- 2 市町村乗合バス補助制度の充実について〔継続〕
- 3 鉄道利用促進アクションプログラムの着実な実施について〔新規〕
- 4 横断歩道等の道路路面規制標示の補修について〔継続〕
- 5 通学路における県道箇所安全対策について〔新規〕
- 6 急傾斜地崩壊対策事業の促進について〔継続〕
- 7 汚水処理施設の整備等について
  - (1) 公共下水道費補助の拡充について〔継続〕
  - (2) 浄化槽補助事業の継続等について〔継続〕
  - (3) 流域下水道の維持管理費及び建設費に係る県負担について〔継続〕
- 8 空家等対策事業について〔継続〕

#### **教育委員会関係**

- 1 教育相談体制の充実について〔継続〕
- 2 公立学校における帰国・外国人児童生徒に対する支援について〔継続〕
- 3 特別な支援を要する児童生徒への指導・支援の充実について〔継続〕
- 4 スクールサポートスタッフの配置について〔新規〕
- 5 世界遺産学校の創設について〔新規〕
- 6 学校給食に係る補助制度の創設について〔新規〕
- 7 指定文化財保存事業費補助金の確保について〔継続〕
- 8 国指定特別天然記念物カモシカの保護について〔継続〕

#### **企業局関係**

- 1 県央第二水道からの受水単価等の見直しについて〔継続〕

#### **警察本部関係**

- 1 横断歩道等の道路路面規制標示の補修について〔継続〕
- 2 高齢者の交通事故対策について〔新規〕

## 企画部関係

### 1 世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群等に係る支援について

世界遺産に登録された富岡製糸場と絹産業遺産群等について、その価値を将来にわたって維持するため、下記事項について、特段の措置を講じること。

#### (1) 富岡製糸場保存整備事業に係る支援について〔継続〕

施設整備については、整備計画に基づき、資産の本格的な保存整備事業に着手したが、この事業は長期にわたる期間と多額な事業費が必要なことから、県費負担額及び負担率を確保すること。

#### (2) 田島弥平旧宅保存整備事業に係る支援について〔継続〕

平成25年度から25%の県費補助を受けているが、今後も引き続き25%の県補助率を確保すること。

#### (3) 高山社跡保存整備事業等に係る支援について〔継続〕

整備保存修復に関して、多額の費用が掛かるため、県補助金額の現行補助率を確実に堅持し、更なる拡充を図ること。

また、世界遺産として景観の保全維持が挙げられているにも関わらず、補助制度がなく、市が負担していることから、景観維持に係る補助制度を創設すること。

#### (4) 県内絹産業遺産の保存継承について〔継続〕

県内に残る文化財指定・登録外の絹産業遺産については、民間所有・管理のものが多く、経年老朽化が進んでいることから、所有者の都合などにより失われる可能性が高いため、修復維持管理等に係る補助制度を創設し、貴重な絹産業遺産を保存継承すること。

#### (5) 世界遺産センターにおける調査研究の充実について〔継続〕

世界遺産センターにおいて、調査研究部門を設置し、各資産の調査研究を行い、世界遺産の価値を高めるとともに、情報発信し、継続的な誘客を図ること。

## (6) 世界遺産学校の創設について〔継続〕

(※企画部及び教育委員会に提出)

郷土を愛する心を育むため、富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産を県内小中学校児童生徒が学習する「世界遺産学校」を創設すること。

## 2 在留外国人に対する日本語教育への支援について〔新規〕

新しい在留資格の創設等によって在留外国人の更なる急増が見込まれ、今後日本語学習者が更に増加していくことが予想されることから、地域における日本語教育を充実させるため、県において地域の国際交流協会等が実施している日本語教室への財政的支援について、特段の配慮を図ること。

### **こども未来部関係**

#### 1 第3子以降副食費補助事業の新設について〔新規〕

幼児教育・保育の無償化に伴い、2号認定子ども（3～5歳児クラス）の保育料が無償化される一方で、副食費は保育料から切り離され、実費徴収されることとなったが、本制度をより充実させるため、副食費に係る補助事業を創設すること。

#### 2 産婦健康診査実施における医療機関との調整について〔新規〕

産婦健康診査事業が適切に実施されるよう、県医師会と一括契約をしている県において、医療機関に対する産婦健康診査制度の周知徹底と連携体制構築のための調整を講じること。

### **健康福祉部関係**

#### 1 地域における高度医療の確保について〔継続〕

住民にとって身近な地域で高度医療が受けられるよう、最新技術を持つスタッフの確保や育成、最新機器の導入支援等、地域の拠点病院への支援を図ること。

## 2 こども発達支援相談室運営に対する補助について〔新規〕

発達障害者及びその家族等に対する相談は、県発達障害者支援センターで行われているが、予約待ちで市へ相談を寄せられるため、市において相談支援事業を検討していることから、専門的にその相談に応じる業務を市町村が行う場合において、財政的な支援を講じるとともに、必要な助言を行うこと。

## 3 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕

(健康福祉部、森林環境部及び農政部に提出)

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴い、出荷制限されている野生鳥獣の一部解除に向けた取り組みを図ること。

また、解除に必要なとなる検査体制に対する支援等を図ること。

## 4 成年後見制度の首長申立てに係るガイドラインの作成について〔新規〕

成年後見制度における市長申立てにおいて、対象者の現在地と居住地、援護元が異なるなど複数の市町村が関わる場合、関係市町村との調整に時間を要している現状があり、今後高齢者人口の増加によって認知症高齢者の増加も見込まれ、首長申立てが増加するとともに、住所地と居住地が異なる事案も増加すると考えられ、申立ての事務処理の遅滞が懸念されることから、成年後見制度を円滑に運営するため、県内の市町村の共通認識が図られるよう、県において統一的な方針を示したガイドラインを作成すること。

## 5 生活困窮者自立支援制度に係る支援について〔新規〕

改正生活困窮者自立支援法において、就労準備支援事業、家計改善支援事業について、令和4年度までに実施する努力義務が創設されたことから、両事業の実施に向けて、地域格差に配慮した必要な支援や、県内自治体における情報交換等の場を設けること。

## 6 後期高齢者健診における委託契約の調整について〔新規〕

後期高齢者健診事業について、市民の利便性と受診率が一層の向上を図るため、予防接種等の相互乗り入れによる実施と同様に県内他地域も受診できるよう、県の調整による体制整備を講じること。



## 森林環境部関係

### 1 クビアカツヤカミキリ対策事業の促進について〔継続〕

クビアカツヤカミキリによる被害件数は増加の一途を辿っており、今後もさらなる被害拡大が予想されることから、駆除対策のための補助制度の拡充を図ること。

### 2 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕

(健康福祉部、森林環境部及び農政部に提出)

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴い、出荷制限されている野生鳥獣の一部解除に向けた取り組みを図ること。

また、解除に必要なとなる検査体制に対する支援等を図ること。

### 3 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕

(森林環境部及び農政部に提出)

野生鳥獣による農作物被害は、生息環境の変化や過疎化、農業者の高齢化による農村環境の変化等により、被害地域が年々拡大するなど、深刻な状況が続いており、経済的損失にとどまらず、農業従事者の意欲の減退や耕作放棄地の増加の要因ともなっていることから、下記事項について、所要の対策を講じること。

① 鳥獣被害防止総合対策交付金については、必要な財源を確保するとともに、鳥獣害対策地域支援事業については、捕獲従事者の活動実績が増加傾向にあることから補助率の拡充を図ること。

また、鳥獣被害防止総合対策交付金の交付決定額と要望額の差額について、鳥獣害対策地域支援事業により全額補完すること。

② 生息数を適正規模に減少させる管理を一層強化すること。

③ 県単事業による野生獣の侵入防止柵の請負による設置事業に対し、引き続き予算措置すること。

④ 群馬県広域被害防止協議会において有害鳥獣捕獲の担い手人材育成を推進するとともに、捕獲組織を創設すること。

⑤ 個体数調整事業にイノシシを対象鳥獣に追加すること。

## 農政関係

### 1 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕

(森林環境部及び農政部に提出)

野生鳥獣による農作物被害は、生息環境の変化や過疎化、農業者の高齢化による農村環境の変化等により、被害地域が年々拡大するなど、深刻な状況が続いており、経済的損失にとどまらず、農業従事者の意欲の減退や耕作放棄地の増加の要因ともなっていることから、下記事項について、所要の対策を講じること。

- ① 鳥獣被害防止総合対策交付金については、必要な財源を確保するとともに、鳥獣害対策地域支援事業については、捕獲従事者の活動実績が増加傾向にあることから補助率の拡充を図ること。

また、鳥獣被害防止総合対策交付金の交付決定額と要望額の差額について、鳥獣害対策地域支援事業により全額補完すること。

- ② 生息数を適正規模に減少させる管理を一層強化すること。
- ③ 県単事業による野生獣の侵入防止柵の請負による設置事業に対し、引き続き予算措置すること。
- ④ 群馬県広域被害防止協議会において有害鳥獣捕獲の担い手人材育成を推進するとともに、捕獲組織を創設すること。
- ⑤ 個体数調整事業にイノシシを対象鳥獣に追加すること。

### 2 養蚕業に対する支援について〔継続〕

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産となったことから、絹産業文化を継承することが必要であるが、その根幹をなす養蚕業の存続が危機的な状況であることから、養蚕業の存続のため、下記事項について、必要な措置を講じること。

- ① 平成27年度から実施している養蚕農家への繭代増額補填を継続すること。
- ② 「ぐんまシルク」の品質向上には、原料である繭の品質向上が欠かせないため、養蚕に関する専門的な知識と技術を持つ専門員の養蚕農家への派遣を継続すること。
- ③ 繭の増産及び品質向上を図るには人員確保が欠かせないため、平成26年度から大日本蚕糸会が行っている養蚕ヘルパー制度に該当しない者に対する補助等、制度を拡充すること。

- ④ 蚕糸業継承対策事業の補助金交付要件については、一部見直しがされ、基準年度の掃立量等より多少減少しても支援が受けられることとなったが、掃立量等は養蚕農家の高齢化に伴い自然減少する傾向にあり、養蚕部会が一定量の事業実績を上げ続けることは困難であることから、蚕品種の指定や生産量に占める指定品種の割合によるものに見直すこと。
- ⑤ 減少する養蚕農家戸数に歯止めをかけるため、意欲ある新規養蚕就農者及び団体への補助金を拡充すること。
- ⑥ 県蚕糸技術センターの更なる活用による、医薬、バイオ分野等との連携、研究など、蚕糸業の新たな価値を創出すること。

### 3 野生鳥獣肉の出荷制限一部解除及び支援について〔継続〕

(健康福祉部、森林環境部及び農政部に提出)

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴い、出荷制限されている野生鳥獣の一部解除に向けた取り組みを図ること。

また、解除に必要なとなる検査体制に対する支援等を図ること。

### 4 豚コレラ拡大防止支援について〔新規〕

昨年9月に国内では26年振りに発生した豚コレラについて、養豚業に対する豚コレラまん延防止に伴う予防的措置に対し、必要な支援を講じること。

## 産業経済部関係

### 1 千客万来支援事業費補助金の拡充について〔新規〕

魅力ある観光地づくりを行うため、観光案内誌等によるPR事業や新たな観光資源の環境整備、観光施設の維持管理に係る財政支援を拡充すること。

特に、来訪観光客の利便性の向上のため、老朽観光トイレの改修を行うなど補助要件を緩和すること。

### 2 シルバー人材センター補助金の拡充について〔新規〕

高齢者の就業機会を支えるシルバー人材センターの安定的な運営を確保するため、県補助金の拡充を図ること。

## **県土整備部関係**

### **1 幹線道路網等の整備について〔継続〕**

幹線道路等の整備は、他都市との連携促進や都市内及び合併後の新市域内循環の円滑化、災害時における救急輸送体制の確立など、当該市のみならず群馬県全体の発展にとって、重要かつ必要不可欠なものである。このことから、道路予算を十分に確保するとともに、下記幹線道路網等の整備について、所要の対策を講じること。

- ① 国道50号前橋笠懸道路
- ② 西毛広域幹線道路

### **2 市町村乗合バス補助制度の充実について〔継続〕**

県民の日常生活に必要な交通手段である乗合バス及び乗合タクシーについて、収支率の基準の引き下げ等、補助制度の充実を図ること。

特に、収支率による補助金停止措置規定については見直しすること。

また、車両更新の際は、費用も高額となることから、車両購入費に係る補助制度を拡充すること。

### **3 鉄道利用促進アクションプログラムの着実な実施について〔新規〕**

平成30年3月に策定された群馬県交通まちづくり戦略に基づく、鉄道利用促進アクションプログラムについて、事業推進に必要な予算を確保すること。

### **4 横断歩道等の道路路面規制標示の補修について〔継続〕**

(県土整備部及び警察本部に提出)

県道における横断歩道や停止線(止まれを含む)や、外側線等の道路路面規制標示について、薄く消えかかっている箇所がある。特に通学路となっている箇所は危険なことから早急に補修等の対策を講じること。

### **5 通学路における県道箇所の安全対策について〔新規〕**

通学路となっている県道の危険箇所に対して、県警察本部や県公安委員会など、県関係機関同士の連携を密にした早急な安全対策を実施すること。

## 6 急傾斜地崩壊対策事業の促進について〔継続〕

国庫補助事業対象外の箇所でも災害の発生しやすい状況があるため、国庫補助事業対象外の箇所については、県単独による急傾斜地崩壊対策事業を実施すること。

## 7 汚水処理施設の整備等について

水源県として相応しい水環境の保全及び汚水処理人口普及率の向上を図るため、下記事項について、積極的な措置を講じること。

### (1) 公共下水道費補助の拡充について〔継続〕

生活環境施設として極めて重要な下水道の整備を促進するため、財政措置の拡充を図ること。

### (2) 浄化槽補助事業の継続等について〔継続〕

浄化槽エコ補助金事業については、浄化槽整備事業費補助金に宅内配管費への補助が加わったことにより、今後、補助金の廃止が懸念されるが、合併浄化槽への転換が費用負担等を理由に中々進まない現状にあることから、浄化槽エコ補助金を継続的な制度とすること。

### (3) 流域下水道の維持管理費及び建設費に係る県負担について〔継続〕

流域下水道の維持管理に係る県負担及び流域下水道建設費の県負担については、関係市町村と十分な協議を行い、引き続き支援を図ること。

## 8 空家等対策事業について〔継続〕

空家等の解消について、特定空家等に限らず、空家所有者等に対する空家の解体やリフォーム、跡地利用への補助は空家解消に効果があることから、市町村の補助施策に対する県の補助制度を創設すること。

## **教育委員会関係**

### **1 教育相談体制の充実について〔継続〕**

小学校における教育相談体制の充実を図り、その後の継続的な指導や問題行動等の未然防止及び早期解決を推進するため、小学校におけるスクールカウンセラーの勤務日数を拡充すること。

### **2 公立学校における帰国・外国人児童生徒に対する支援について〔継続〕**

外国人児童生徒数の増加と言語が多様化している現状から、日本語を全く理解していない児童生徒を指導する初期指導教室（プレクラス）の指導体制（日本語指導助手等）の充実が課題であることから、今後も帰国・外国人児童生徒受入促進事業を活用すること。

### **3 特別な支援を要する児童生徒への指導・支援の充実について〔継続〕**

特別支援学級の児童・生徒数が増加していることから、特別な支援を要する児童生徒への指導・支援にあたる職員を配置すること。

### **4 スクールサポートスタッフの配置について〔新規〕**

教職員の業務改善のため、スクールサポートスタッフの増員を図ること。

### **5 世界遺産学校の創設について〔継続〕**

（※企画部及び教育委員会に提出）

郷土を愛する心を育むため、富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産を県内小中学校児童生徒が学習する「世界遺産学校」を創設すること。

### **6 学校給食に係る補助制度の創設について〔新規〕**

学校給食における給食費の助成及び設備の維持管理に係る補助制度を創設すること。

## 7 指定文化財保存事業費補助金の確保について〔継続〕

指定文化財の保存事業費補助金について、所有者負担の軽減と安定化を図るための継続的な予算確保を図ること。

## 8 国指定特別天然記念物カモシカの保護について〔継続〕

カモシカの保護件数が近年平野部で急速に増えつつあるが、市町村境に拘束されない特別天然記念物であることから、県内各地域で保護対応できる部署を設けること。

### 企業局関係

#### 1 県央第二水道からの受水単価等の見直しについて〔継続〕

将来にわたる安定給水のため、3年毎の協定の見直しに併せて県央第二水道からの受水単価の引き下げを行うこととともに、実情の使用水量に即した受水量への見直しを図ること。

### 警察本部関係

#### 1 横断歩道等の道路路面規制標示の補修について〔継続〕

(県土整備部及び警察本部に提出)

県道における横断歩道や停止線(止まれを含む)や、外側線等の道路路面規制標示について、薄く消えかかっている箇所がある。特に通学路となっている箇所は危険なことから早急に補修等の対策を講じること。

#### 2 高齢者の交通事故対策について〔新規〕

高齢者の交通事故が社会問題となるなか、運転免許証の返納を促進するため、自主返納者に対する運転経歴証明書交付手数料については、無料とすること。

## 1 2市個別要望



## 令和2年度 群馬県予算等に関する要望

### 『12市個別要望』

#### 企画部関係

- 1 超高速ブロードバンド（光回線）整備に対する支援について〔新規〕【藤岡市】

#### 健康福祉部関係

- 1 中核病院の医師の確保について〔継続〕【桐生市、みどり市】
- 2 小児科及び産婦人科医師の確保について〔継続〕【沼田市】
- 3 精神科の医療機関整備及び医師の確保について〔継続〕【沼田市】
- 4 医療偏在の解消や地域医療の充実について〔新規〕【沼田市】
- 5 医師の確保について〔継続〕【館林市】

#### 森林環境部関係

- 1 秋間ファーム特殊肥料残存物の早期撤去について〔継続〕【安中市】

#### 産業経済部関係

- 1 産業団地造成事業の推進について〔新規〕【伊勢崎市】
- 2 就労支援事業の充実について〔新規〕【太田市】

#### 県土整備部関係

- 1 幹線道路網等の整備について〔継続〕【各市】
- 2 豊岡新駅（仮称）の整備について〔継続〕【高崎市】
- 3 高速バス（沼田駅～群大病院間）運行に係る補助用件緩和について〔新規〕【沼田市】
- 4 河川改修等の整備促進について
  - （1）井野川及び榛名白川などの河川改修等の促進について〔継続〕【高崎市】
  - （2）一級河川早川の護岸整備について〔継続〕【桐生市】
  - （3）県管理河川の重要水防箇所整備事業について〔継続〕【太田市】
  - （4）利根川右岸等の護岸整備について〔継続〕【沼田市】
- 5 浜川運動公園拡張事業の促進について〔継続〕【高崎市】
- 6 市街地再開発事業の促進について〔継続〕【高崎市】

#### 教育委員会関係

- 1 共同調理場における栄養教諭等の配置人数の拡充について〔継続〕【伊勢崎市】
- 2 渋川工業高校の建設系学科新設について〔新規〕【渋川市】
- 3 史跡上野国佐位郡正倉跡の整備事業に係る支援について〔継続〕【伊勢崎市】

#### 企業局関係

- 1 産業団地造成事業の推進について〔新規〕【伊勢崎市】

## **企画部関係**

### **1 超高速ブロードバンド（光回線）整備に対する支援について〔新規〕【藤岡市】**

超高速ブロードバンド（光回線）未整備地区に対する県補助金の創設等、整備に向けた支援を行うこと。

## **健康福祉部関係**

### **1 中核病院の医師の確保について〔継続〕【桐生市、みどり市】**

医師不足による地域医療サービスの低下は全国的な問題であり、桐生地域医療組合（桐生厚生総合病院）においても同様の状況であるが、現在、構成市において、県が実施している取り組み以外の地域の実情に合った独自の対策として、医師確保対策事業費補助を行っているため、補助に係る財政支援等について特段の措置を講じること。

### **2 小児科及び産婦人科医師の確保について〔継続〕【沼田市】**

小児科及び産婦人科医師の安定的確保が厳しい状況であり、乳幼児健診の医師確保、小児救急医療の拡充、分娩施設の維持を含めた周産期医療の確保に苦慮している。

少子化対策の中でも、若い世代が安心して妊娠出産子育てが出来る保健医療体制の維持は重要であり、小児科及び産婦人科医師の確保について、特段の支援を図ること。

### **3 精神科の医療機関整備及び医師の確保について〔継続〕【沼田市】**

精神科通院のできる医療機関が少なく、ましてや入院できる医療機関がないことから、精神障害のある人が地域の一員として安心して自分らしく暮らすことができるよう、精神科の医療機関整備及び医師の確保について、特段の支援を図ること。

### **4 医療偏在の解消や地域医療の充実について〔新規〕【沼田市】**

利根沼田地域では、各病院で医師の確保に大変苦慮している状況にあることから、医療偏在の解消や地域医療の充実が図れるよう、医師の派遣制度を確立し、安定した医療の提供に寄与すること。

### **5 医師の確保について〔継続〕【館林市】**

地域医療を担う医師の安定確保を図るため、医師の偏在指数が低い地域への優先的従事等、保健医療圏の実情に応じた支援を講じること。

## 森林環境部関係

### 1 秋間ファーム特殊肥料残存物の早期撤去について〔継続〕【安中市】

秋間ファーム特殊肥料残存物を早期に撤去するよう、事業者に対し指導すること。

## 産業経済部関係

### 1 産業団地造成事業の推進について〔新規〕【伊勢崎市】

(産業経済部及び企業局に提出)

平成27年より分譲が開始された伊勢崎宮郷工業団地については、順調に分譲が進んでおり、現在、市内には公的工業団地の在庫がない状況となっていることから、新規産業団地造成候補地の造成事業を推進し、産業集積を図ること。

### 2 就労支援事業の充実について〔新規〕【太田市】

県主催の合同企業説明会について、より多くの参加者を見込むことができる東毛地域において開催すること。

## 県土整備部関係

### 1 幹線道路網等の整備について〔継続〕

#### 【前橋市】

- ① 本町二丁目五差路の交差点改良
- ② 苗ヶ島飯土井線の延伸整備
- ③ 朝倉玉村線（利根川新橋含）並びに江田天川大島線の県道昇格及び建設推進
- ④ （仮）赤城榛名広域道路及び未整備区間の新規事業化
- ⑤ 前橋・赤城線（自転車利用環境）及び大胡・赤城線
- ⑥ 南新井前橋線及び津久田停車場前橋線の安全対策

#### 【高崎市】

- ① J R新町駅付近連続立体交差

#### 【桐生市】

- ① 太田桐生線バイパス
- ② 渡良瀬幹線（笠懸大間々区間）

#### 【伊勢崎市】

- ① 桐生伊勢崎線バイパス

#### 【太田市】

- ① 太田西部幹線
- ② 太田北部幹線
- ③ 国道407号熊野町の交差点改良
- ④ 前橋館林線（スバル本社南側）の拡幅

#### 【沼田市】

- ① 県道小日向沼田線の道路改良
- ② 国道145号の道路改良
- ③ 市道追貝中央線（千歳橋架け替え）

#### 【館林市】

- ① 中央通り線
- ② 大手町大街道線
- ③ 青柳広内線県道昇格及び整備促進
- ④ 国道122号館林バイパス

#### 【渋川市】

- ① 渋川吾妻線の歩道設置
- ② JR渋川駅の周辺整備（駅前広場整備）
- ③ JR八木原駅西側駅前広場及び高崎安中渋川線
- ④ 前橋伊香保線吉岡バイパス

#### 【藤岡市】

- ① 寺尾藤岡線バイパス
- ② 前橋長瀬線（柳瀬橋から国道17号区間）の4車線化
- ③ 国道254号藤岡市内のバイパス整備の検討
- ④ 前橋長瀬線バイパス
- ⑤ 藤岡本庄線中栗須藤岡境交差点改良
- ⑥ 藤岡本庄線の拡幅

#### 【みどり市】

- ① 桐生伊勢崎線阿左美大原工区
- ② 大間々世良田線バイパス及び渡良瀬幹線
- ③ 国道122号塩原バイパス
- ④ 小平塩原線滝ノ上工区
- ⑤ 花輪水沼線の道路改良
- ⑥ 国道122号大間々6丁目の交差点改良

## 2 豊岡新駅（仮称）の整備について〔継続〕【高崎市】

交通弱者の移動手段を確保するため、JR信越本線の北高崎駅・群馬八幡駅間の新駅設置に向けた取り組みについて、本事業の整備促進が図られるよう、特段の支援を図ること。

## 3 高速バス（沼田駅～群大病院間）運行に係る補助用件緩和について〔新規〕【沼田市】

現在、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金を受け運行しているが、この補助対象条件があり、この路線が国、県の補助対象外となると、本市の補助のみで運行せざるを得なくなることから、主要都市間を結ぶ重要路線を維持するため、県独自の主要路線の位置づけによる補助制度を創設すること。

#### 4 河川改修等の整備促進について

##### (1) 井野川及び榛名白川などの河川改修等の促進について〔継続〕【高崎市】

近年、井野川及び榛名白川などでは降雨による増水で河川水位の急激な上昇が顕著となり、河川沿線の住民は大きな不安と危機感を募らせていることから、河川の水位上昇を抑制する治水対策を講じること。

##### (2) 一級河川早川の護岸整備について〔継続〕【桐生市】

一級河川早川は、護岸の未整備区間があり、河床の洗掘や護岸が侵食され、崩壊の恐れがあり、また、住宅地域や市道の付近を流れていることから、未整備区間の整備について特段の措置を講じること。

##### (3) 県管理河川の重要水防箇所整備事業について〔継続〕【太田市】

台風における他県での河川氾濫を踏まえ、県が所管する河川の重要水防箇所の再点検と重要度が高い箇所の河川整備（石田川、早川及び蛇川）を講じること。

##### (4) 利根川右岸等の護岸整備について〔継続〕【沼田市】

洪水による土地の崩壊の未然防止及び近隣住民の安全確保のため、下記護岸整備を図ること。

- ① 利根川の片品川との合流点から下流の沼田市屋形原町地先の利根川右岸
- ② 利根川と片品川との合流点から上流の沼田市沼須町地先の片品川右岸

#### 5 浜川運動公園拡張事業の促進について〔継続〕【高崎市】

浜川運動公園の拡張整備にあたり、本公園が災害時における防災拠点として機能できるよう、隣接する井野川の堤防等の河川整備と適切な維持管理及び周辺交通需要に対応した県道整備を図ること。

#### 6 市街地再開発事業の促進について〔継続〕【高崎市】

高崎駅東口栄町地区においては、市街地再開発事業等により高度利用を促進し、新たなビジネスエリアの創出や業務機能の集積等を図り、雇用の増加、交流人口の拡大等、中心市街地活性化に大きな期待ができることから、市街地再開発事業等の整備促進が図れるよう、引き続き財政支援を講じるとともに、補助制度の拡充を図ること。

## **教育委員会関係**

### **1 共同調理場における栄養教諭等の配置人数の拡充について〔継続〕【伊勢崎市】**

調理場の老朽化に対応するため、3調理場を統合し新学校給食調理場を建設したが、現在、統合する3調理場に栄養教諭等は、6人配置されているなか、新調理場で配当基準に基づいた場合は、3人となることから、他県において1場2棟方式で加配されている例も踏まえ、同様の措置を講じるとともに、配当基準を見直すこと。

### **2 渋川工業高校の建設系学科新設について〔新規〕【渋川市】**

北毛地区における建設系技術者の養成を図るため、渋川工業高校に建設系学科(建築・土木)を新設すること。

### **3 史跡上野国佐位郡正倉跡の整備事業に係る支援について〔継続〕【伊勢崎市】**

国指定史跡である上野国佐位郡正倉跡の保存整備に係る県補助を拡充すること。

## **企業局関係**

### **1 産業団地造成事業の推進について〔新規〕【伊勢崎市】**

(産業経済部及び企業局に提出)

平成27年より分譲が開始された伊勢崎宮郷工業団地については、順調に分譲が進んでおり、現在、市内には公的工業団地の在庫がない状況となっていることから、新規産業団地造成候補地の造成事業を推進し、産業集積を図ること。